慣用句(中級)プリント1（ルビつき） No.38（ルビつき）

なまえ

答えの 選択肢の ○を 1つだけ ぬる。
まちがえたら けしゴムで けす。

出席番号　　必要な人は書く

問1 「口を利く」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ おいしいものを食べて、口を利いた。
- ○ 口を利くために、大きな声で叫んだ。
- ○ 仲直りをして、また口を利くようになった。
- ○ 口を利くほど、おなかがすいてきた。

問2 「目を光らせる」の意味はどれですか？

- ○ 相手の様子をうかがって、不安で落ち着かない
- ○ 相手の欠点を見つけて、わざと無視する
- ○ 物事の細部まで注意を向けて確認する
- ○ 不正やミスがないか、厳しく注意して見張る

問3 「顔が立つ」の意味はどれですか？

- ○ 人前に出て活動に参加する
- ○ 非常に頭の回転が速く、鋭い判断力がある
- ○ 世間に対して面目が保たれる
- ○ 考えが凝り固まっていて融通がきかない

問4 「手がかかる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ この機械は修理にとても手がかかる。
- ○ 手がかかるので、手袋をはめて作業した。
- ○ 重い荷物なので、手がかかって運ぶ。
- ○ 寒さで手がかかるので、ポケットに入れた。

問5 親の（　）を盗んで遊びに行く。（　）に入る言葉はどれですか？

- ○ 耳
- ○ 目
- ○ 手
- ○ 鼻

問6 「手を尽くす」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 手を尽くして、重い荷物を持ち上げた。
- ○ 手を尽くして、疲れたので休むことにした。
- ○ 手を尽くして、部屋のすみずみまで磨いた。
- ○ 迷子を探すために、あらゆる手を尽くした。

問7 「目を配る」の意味はどれですか？

- ○ 相手の過ちを厳しく指摘して見張る
- ○ 相手の欠点を見ないふりをして許す
- ○ 不安を感じて、落ち着きなく視線を動かす
- ○ 全体に注意が行き届くように、あちこちを見る

問8 「歯が立たない（相手が強くてかなわない）」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 強豪校との試合では、全く歯が立たなかった。
- ○ 歯みがきをサボっていたら、歯が立たなくなった。
- ○ 転んで口をぶつけたので、歯が立たなくなった。
- ○ 虫歯が痛くて、歯が立たない。

問9 「二束三文」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 彼は二束三文の金貨を大切に保管している。
- ○ 古い雑誌を売ったが二束三文にしかならなかった。
- ○ 二束三文の荷物を二つの束に分けた。
- ○ 二束三文の値段で高級車を買い取った。

問10 彼は（　）に衣着せぬ物言いで有名だ。（　）に入る言葉はどれですか？

- ○ 口
- ○ 喉
- ○ 歯
- ○ 舌

QRを 読んで 答え合わせ
答案を 撮って 自動採点
点数は マイページに ためよう

慣用句(中級)プリント1（ルビつき） No.38（ルビつき）

赤い ○ が 正しい 答え。
まちがえた 問は もう一度 とこう。

こたえ

問1 「口を利く」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ おいしいものを食べて、口を利いた。
- ○ 口を利くために、大きな声で叫んだ。
- ● 仲直りをして、また口を利くようになった。
- ○ 口を利くほど、おなかがすいてきた。

問2 「目を光らせる」の意味はどれですか？

- ○ 相手の様子をうかがって、不安で落ち着かない
- ○ 相手の欠点を見つけて、わざと無視する
- ○ 物事の細部まで注意を向けて確認する
- ● 不正やミスがないか、厳しく注意して見張る

問3 「顔が立つ」の意味はどれですか？

- ○ 人前に出て活動に参加する
- ○ 非常に頭の回転が速く、鋭い判断力がある
- ● 世間に対して面目が保たれる
- ○ 考えが凝り固まっていて融通がきかない

問4 「手がかかる」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ● この機械は修理にとても手がかかる。
- ○ 手がかかるので、手袋をはめて作業した。
- ○ 重い荷物なので、手がかかって運ぶ。
- ○ 寒さで手がかかるので、ポケットに入れた。

問5 親の（　）を盗んで遊びに行く。（　）に入る言葉はどれですか？

- ○ 耳
- ● 目
- ○ 手
- ○ 鼻

問6 「手を尽くす」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 手を尽くして、重い荷物を持ち上げた。
- ○ 手を尽くして、疲れたので休むことにした。
- ○ 手を尽くして、部屋のすみずみまで磨いた。
- ● 迷子を探すために、あらゆる手を尽くした。

問7 「目を配る」の意味はどれですか？

- ○ 相手の過ちを厳しく指摘して見張る
- ○ 相手の欠点を見ないふりをして許す
- ○ 不安を感じて、落ち着きなく視線を動かす
- ● 全体に注意が行き届くように、あちこちを見る

問8 「歯が立たない（相手が強くてかなわない）」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ● 強豪校との試合では、全く歯が立たなかった。
- ○ 歯みがきをサボっていたら、歯が立たなくなった。
- ○ 転んで口をぶつけたので、歯が立たなくなった。
- ○ 虫歯が痛くて、歯が立たない。

問9 「二束三文」を慣用句の意味で正しく使っている文はどれですか？

- ○ 彼は二束三文の金貨を大切に保管している。
- ● 古い雑誌を売ったが二束三文にしかならなかった。
- ○ 二束三文の荷物を二つの束に分けた。
- ○ 二束三文の値段で高級車を買い取った。

問10 彼は（　）に衣着せぬ物言いで有名だ。（　）に入る言葉はどれですか？

- ○ 口
- ○ 喉
- ● 歯
- ○ 舌